


最上位の  
女性上位社会  
を目指す。

# 女農学園学校説明会

サークル:女神toM 



当校の教育理念は、「優尊自立」。  
優れた者を尊び、生徒それぞれが自立するための  
精神を構築することこそが、当校の教育理念でございます。

この優れた者とはつまり名家の生まれの女性の皆様のことです。

しかし、中にはこのことを理解できていない者も社会にいるのが実情。  
ゆえに、学校教育の段階で社会的階層・ヒエラルキーを導入し、  
すべての生徒に「身分の違い」を理解してもらおう必要がございます。  
そのためには、スクールカースト制度が最も正しい選択肢であると  
当校では確信を持って、教育の現場に立っております。



我が校では、全ての男子が最低でも校1年を2回。  
校2年を2回。3年を3回経験してもらおうこととなっております。  
つまりは『強制留年』。  
さらに7年目以外の年度は男子を学生としては扱わず、  
学校の備品として取り扱います。

名家生まれの女子。

～～～絶対的な壁～～～

成績が上位5%の女子。

～～～女子だけに許された努力と才能の壁～～～

一般的な女子。

～～～さらに絶対的な壁～～～

全ての男子。

まず、授業中は廊下で全裸のまま水がみなみ入ったバケツを両手に立たせ、  
授業以外の時間は女子生徒様の邪魔にならぬよう、  
ご命令がない限りは掃除用具入れなど自立ため場所に  
外側から鍵をかける形で監禁いたします。

では次に当校の卒業生がどのような学生生活をしてきたか、実例で御覧いただきましょう。まず一人目のご紹介は、ヒエラルキーの最上位である名家の生まれの女子柊木香奈さん。この方は成績も上位5%に入る、まさにエリート。女子の中の女子である、『女史』と言えるでしょう。香奈女史は、後ほど紹介する柊木大輔(ヒエラギ・ダイスケ)の妹君にあたる方です。



しかし、柊木大輔と違う点は、『女性に生まれた』という点に留まらず、学校でも常に上位5%に入る才女でもあった点です。

当校の学生であるから7つ年上の大輔よりも

頭脳面・身体能力面・社会的信用において、遥かに優れており、文句のつけようがありませんでした。現在は女慶大学医学部名誉教授、国連女権委員会日本政府代表であらせられます。



次にご紹介しますのは、ヒエラルキーの最下層にいる男子。  
柘木大輔。  
今回の実例では、7年目の校3年生を迎えた男子生徒です。  
成績は7年間一度もクラス最下位を脱出したことがなく、  
身体能力は女子の20分の1に届きません。  
もちろん、身長・体重ともに同級生女子の  
平均値の半分にも届いておりません。



しかし、大輔には一点だけ他にはない特徴があります。  
生まれが名家なのです。

ただし男子なので、なんのメリットもありませんが…(笑)。

卒業後は懲罰的男子強制徴用として、  
4年間の女性専用公衆便所の舐め掃除奉仕を終え、  
現在は御慈悲を頂けたのか香奈女史の事務所で無賃労働に勤んでおります。

最後に、ヒエラルキーの下から二番目。  
『一般的な女子』である木下絵里さん。

「ごくごく一般的な生まれで、ごくごく一般的な成績の女子です。

特に優れた点はありませんが、強いて言えば胸が大きく、グラマーな体格です。



もしも、男女平等な時代であれば、さぞ男子からはモテたことでしょう。

もっとも、生物的に劣る男子が女子と同じ身分ということなど絶対にありえませんが…。

卒業後は無事にそれなりの…身の丈にあった大学を卒業し、

現在は香奈さんの事務所で、数多くいる部下の一人として働いております。



# 《《学生生活》》

では学生生活のご紹介に移らせていただきます。  
春爛漫の4月。  
クラス分けも終わり、新たなクラスメイトの顔合わせの際、  
香奈女史は、兄の大輔と出会ってしまったようです。  
当然大輔は全裸。  
そして香奈女史に命じられれば、絵里さんも全裸が基本。



同じ女と言えど、その格差は明確。  
椅子になれと言われれば、四つん這いで  
椅子になるのが一般女子の義務というものです。  
しかし、大輔はこの程度では済まされません。  
全裸のまま目隠しをされ、立たされ、チ○ポをじっくりと観察されます。



立たされチ○ポを観察されているのは、実の兄。  
自ら全裸になるよう命じ、チ○ポをじっくりと観察し、嘲笑するは実の妹。  
学年こそ同じとはいえ、その年齢差は実に7歳。  
悲しい話ではありませんか。



そこに香奈女史が取り出したのはチューブ型の貞操帯です。  
クラスに1人しかいない男子のチ○ポを貞操帯で  
封じるのは、たしかに他の女子生徒から  
反感を買うことがあるでしょう。  
しかし、名家の生まれの女子。  
香奈女史を止める事ができる生徒はいません。  
絶対上位者が全てに優先される。  
これがスクールルカーストの本質です。

香奈女史はそつと大輔の顔を見上げ微笑み、貞操帯をカチャカチャと鳴らします。  
あゝあゝ。  
勃起してしまいましたね。  
実の妹にオナ禁強要されると分かって、…勃起(笑)  
これは完全に、『当分射精出来ないなら今出してしまいたい』という浅ましい思いが噴出しての、勃起と考えて間違いないでしょう。  
まったく浅ましいものです。



当然ながら、実の妹に嘲笑の表情を向けられます。  
なぜなら射精させることなどありえないから。  
クラス分け当日の、同級生になったばかりのタイミングで、大輔に射精させるくらいなら、  
そもそも貞操帯など用意しないでしょう。  
射精させたくないから、貞操帯を用意しているのですから。



次に取り出したのは、コンビニの氷袋。  
氷袋の使用法は勃起したチ○ポに押し付け、  
射精無しで勃起を収めることです。  
香奈女史は黙って氷袋を受け取ると、  
そのままギュツと大輔のチ○ポに押しつけ、  
見事に勃起を収めました。  
可哀想に大輔は、射精させてもらえませんか。



さあ、氷の冷たさに縮こまっていく  
大輔のチ○ポに注目しましょう。  
あんなに激しく勃起していたチ○ポは、あつという間に  
親指サイズ↓小指サイズ↓小指未満のサイズに縮小していきますよ。  
あくあく、アレではもはやチ○ポとは言えませんね。  
しかし、これこそが本来の意味での  
男子のあるべき姿と言えるかもしれません。  
何しろ、女性に挿入するなどという「あつてはならない行為」の為に、  
チ○ポを膨らませる行為自体が間違いの元なのですから…

貞操帯は女性が『嵌めてあげる』ものではなく、男性が自らすすんで、『貞操帯を嵌め、鍵をお預かり頂くよう懇願する』のが正しい姿と言えるでしょう。決して女性が『嵌めてあげる』などということの無いよう重々気を付けましょう。



鍵はできるだけ高価で、重みのある南京錠がお勧めです。学生に限らず貞操帯を嵌められた男は必ず開錠を試みます。しかし重みのある南京錠であれば、開錠されることはまずありません。重さは、堅牢さの証でもあるのです。絶対に開けられないのだと自覚させることがより強い女性への依存心を育むことになります。



一般的には男子はクラスで1〜2名なので、女子全員の共有奴隷となりますが、今回のようにヒエラルキーの最上位を独占するような偉大な女史がいる場合にのみ、このような男子の管理を愉しむことが許されます。



また、同時にこういったプレイがきちんと行われることによってヒエラルキーの中央部にいるような一般女子などは、自分の身分というものを理解するようになるのです。

『自分の下には、最下層の男子がいる。されど自分の上には最上位の同性がいるのだ』と。